

氏 名：今野 隼人

学校種別：小学校

採用年度：平成 23 年度

障がいの種別：肢体不自由

○教員の志望動機

僕は生まれつき左手の肩と肘に障がいがあり、腕を曲げたり上げたりすることができません。そのこともあって、小さい頃からいじめを受けていました。

でも、小学校高学年で担任になってもらった先生が僕を変えてくれました。先生からは色々なことに自分からチャレンジしていく大切さを教わり、僕は学級開きの自己紹介で自分の障がいについて話したり、委員会の三役に立候補したりしました。

そんな僕のチャレンジに、いつも先生は大げさなほどに喜んでくれました。僕はそれがうれしくて、ほかにも学級代表になったり、学芸会で登場する機会が多い役に立候補したりと、どんどん積極的に学校生活を送ることができるようになりました。そして、「いつか僕もこの先生のように、誰かを勇気づける人になりたいな。」と、教員を目指すようになりました。

○印象に残っている教育活動

学芸会で器楽演奏を指導した時、僕はピアノ伴奏をしました。採用試験の時も緊張しましたが、このときはその 10 倍くらい緊張しました。

結局、伴奏は大成功！…とまではいかないそここの結果でしたが、「先生、ピアノ一生懸命頑張ってたね。ウチの子たちも、先生すごいんだよって言ってたよ。」と、保護者の方から励ましをいただいたり、失敗しながらでも頑張る姿を子どもたちに見せて心を動かすことができたことは、チャレンジしてよかったなと思った瞬間でした。

○障がいをもっている僕が子どもたちにできること

小さい頃は苦しかったこともありますが、今は、この障がいは僕にとって普通のことです。でも、子どもたちにとって僕の経験してきたことや僕の姿は、それまでの生活で意識したことや考えたこともないことばかりだと思います。

僕は、自分と違う状況や立場、価値観を持っている人との出会いは人生を豊かにすると思っています。僕がこの障がいと一緒に生きる姿が、子どもたちに何かを考えるきっかけになっていると自覚して、僕自身がいろんなことにチャレンジしていきたいと思っています。

○教員を目指す人へのメッセージ・エール

僕が教員になって、障がいをもっていて辛いと感じたことは 1 度もありません。子どもたちは、障がいをもっている自分をありのままに受け止めてくれる素敵な子たちばかりです。職場の先生も普段は同じ仲間として、困ったことがあった時にはさりげなく助けてくれる素晴らしい方ばかりです。不安なことは一つもありません。

一緒にがんばりましょう！学校で待っています！